令 和 2 年 3 月 31 日
気 象 庁 予 報 部

配信資料に関する技術情報第 530 号

～発達する熱帯低気圧５日予報の開始～
（配信資料に関する技術情報第 493 号関連）

気象庁は、令和 2 年 9 月から、24 時間以内に台風に発達すると予想される熱帯低気圧（以下、「発達する熱帯低気圧」という。）の予報について、これまで 24 時間先までの予報のみ提供していたものを、5 日先まで提供します。これにともない、台風解析・予報情報、全般海上警報、地方海上警報、全般台風情報（VPTI50）の運用を変更します。また、令和 3 年 3 月から、台風の暴風域に入る確率を発達する熱帯低気圧の段階から提供するとともに、全般台風情報（図形式）を新たに提供します。

なお、台風の暴風域に入る確率については新しく XML 電文で提供します。XML 電文の詳細については「気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ」（http://xml.kishou.go.jp/）において関連資料を提供しますので、それらをご参照ください。

１．改善の概要

以下の改善を実施します。

① 1 日（24 時間）先まで提供している発達する熱帯低気圧の予報（進路予報及び強度予報）を 5 日（120 時間）先まで延長します。これに伴い、台風解析・予報情報（VPTWii[ii=60～65]）、全般海上警報（VPZU52、WWJP27）、地方海上警報（VPCU51）の運用を変更します。

② 台風の暴風域に入る確率について、発達する熱帯低気圧の段階から提供するとともに、電文及びファイルを新設します。

③ 現在、全般台風情報（VPTI50）は台風のみを対象に提供していますが、「発達する熱帯低気圧に関する情報」として発達する熱帯低気圧の段階から提供します。

④ 全般台風情報の図形式の情報を新しいファイル名で新たに提供します。

①・③については令和 2 年 9 月（予定）から、②・④については令和 3 年 3 月から実施します。具体的な実施日時、試験配信の日程などは改めてお知らせします。

２．新設または変更するプロダクトの詳細

（１）台風解析・予報情報（５日進路・強度予報）電文（VPTWii [ii=60～65]）の運用変更

（ア）電文に含まれる内容

現在、発達する熱帯低気圧については実況と 1 日（24 時間）先までの予報を提供

していますが、台風と同様に 5 日（120 時間）先までの予報を提供します。ただし、台風と同じで、00 時（日本標準時、以下同じ）、06 時、12 時、18 時の観測に基づく 5 日先までの予報のうち、2 日（48 時間）先以降の予報は、3 時間前の観測に基づく 48、72、96、120 時間予報を 45、69、93、117 時間予報として提供します。予報の要素は、台風の場合と同じです。

（イ）電文形式

フォーマットの変更はありません。別紙 1 に電文における 5 日（120 時間）先までの予報の追加例を示します。

運用の変更は令和 2 年 9 月です。

（ウ）発表時刻（別紙 7 参照）

台風については、台風が 1 個の場合、00 時、03 時、06 時、09 時、12 時、15 時、18 時、21 時の観測時刻の約 50 分後に発表し、台風が複数の場合は、1 個目を同観測時刻の約 50 分後、2 個目を同観測時刻の約 70 分後、3 個目以降を同観測時刻の約 90 分後に発表します。ただし、日本に大きな影響を及ぼす台風が接近しているときは 2 個目以降も同観測時刻の約 50 分後に発表します。また、台風発生時については同観測時刻の約 90 分後に発表します。

発達する熱帯低気圧については、同観測時刻の約 90 分後に発表します。

（２）全般海上警報（VPZU52、WWJP27）の運用変更

現在、全般海上警報では、発達する熱帯低気圧に対して実況及び 1 日（24 時間）先までの予報を提供していますが、台風と同様に 5 日（120 時間）先までの予報を提供します。

フォーマットの変更はありません。別紙 2 に電文における 5 日（120 時間）先までの予報の追加例を示します。

運用の変更は令和 2 年 9 月です。

（３）地方海上警報（VPCU51）の運用変更

現在、地方海上警報では、発達する熱帯低気圧に対して実況及び 1 日（24 時間）先までの予報を提供していますが、台風と同様に 2 日（48 時間）先までの予報を提供します。

フォーマットの変更はありません。別紙 3 に電文における 2 日（48 時間）先までの予報の追加例を示します。

運用の変更は令和 2 年 9 月です。

（４）台風の暴風域に入る確率（Ｒ２）の新規提供

現在、台風において提供している台風の暴風域に入る確率について、発達する熱帯低気圧の段階から新たなデータ種類コードまたはファイル名により、XML 電文、GRIB2 格子点値及び PNG 画像の形式で提供します。

なお、既存の電文・ファイル（台風の暴風域に入る確率（５日））は、日本に影響を及ぼす台風（最大 3 個まで）について確率値 0.5%以上の地域がある場合に提供していますが、新規の電文・ファイル（台風の暴風域に入る確率（Ｒ２））は、全ての台風及び発達する熱帯低気圧（以下、「台風等」という。）について、確率値にかかわらず、観測時刻 03 時、09 時、15 時、21 時の台風解析・予報情報の発表に対応して提供します。

提供開始は、令和 3 年 3 月です。

①　台風の暴風域に入る確率（Ｒ２）（電文）の新規提供

（ア）データ種類コード

VPTAii [ii=50～55]　（一の位の i=0～5 は、対応する台風等の VPTWii[ii=60～65]の一の位の i と同じ値を用います。）

（イ）電文に含まれる内容

市町村等をまとめた地域等ごとに、120 時間先までの 3 時間ごとの確率値、及び観測時刻から 24、48、72、96、120 時間先までの積算確率値を提供します。既存の電文（FXJPii[ii=61～72]）では、確率が 0.5%以上の地域について提供していますが、新規電文では、全ての地域について提供（確率が 0.5%未満の地域も省略しません）します。

市町村等をまとめた地域等は、気象庁ホームページで公開している気象庁防災情報 XML の個別コード表[1]の 6 桁のコードを使用します。また、各地域に含まれる市町村は気象庁ホームページ[2]に掲載しています。

（ウ）電文形式

XML 電文で提供します。XML 電文の詳細については「気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ」（http://xml.kishou.go.jp/）において関連資料を提供しますので、それらをご参照ください。

（エ）発表時刻（別紙 7 参照）

対応する台風解析・予報情報の発表時刻（２．（１）（ウ）で示した発表時刻）の約 10 分後に発表します。ただし、２．（１）（ウ）で示した発表時刻が重なる台風等が複数ある場合、重なる台風等の 2 個目以降はさらに 10 分ずつ加算した時刻に発表します。

②　台風の暴風域に入る確率分布（Ｒ２）（格子点値）の新規提供

（ア）ファイル名

○　観測時刻から 120 時間先までの 3 時間ごとの確率（約 190kB）

Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_GPV_Rjp_Jwsp50_FD0000-0500_NCccccnnn_NTYtttt_grib2.bin

[1] AreaInformationCity-AreaForecastLocalM.xls 内の AreaForecastLocalM(コード表)シート

[2] https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/yougo_hp/shichoson_ichiran.html

○　観測時刻から 24、48、72、96、120 時間先までの積算確率（約 25kB）

Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_GPV_Rjp_Jwsp50_FD0000-0500_JRintgrt_NCccccnnn_NTYtttt_grib2.bin

- Z と C の間にはアンダースコアーが 2 個、その他のアンダースコアーは 1 個。yyyyMMddhhmmss はデータの観測時刻の年月日時分秒を UTC（協定世界時）で設定。（yyyy：西暦年、MM：月、dd：日、hh：時、mm：分、ss：秒）
- cccc は TC 番号（西暦年の下 2 桁とその年の熱帯低気圧番号 2 桁で表される 4 桁の数字）
- nnn は当該台風等に関して提供する格子点値の 3 桁の通番
- tttt は台風番号（西暦年の下 2 桁とその年の台風番号 2 桁で表される 4 桁の数字）、ただし、熱帯低気圧の場合は”0000”

（イ）格子点値に含まれる内容等

現在提供している「台風の暴風域に入る確率分布（5 日）（格子点値）」と同じで、観測時刻から 120 時間先までの 3 時間ごとの確率分布格子点値、観測時刻から 24、48、72、96、120 時間先までの積算確率分布格子点値を提供します。

確率値計算の対象領域と格子間隔は、現在提供しているものと同じで次のとおりです。

- 対象領域：北緯 20 度、北緯 50 度、東経 120 度、東経 150 度で囲まれる領域
- 格子間隔：緯度 24 分（0.4 度）、経度 30 分（0.5 度）間隔（76×61）

（ウ）ファイル形式

ファイル形式は、国際気象通報式 FM92 GRIB 二進形式格子点資料気象通報式（第 2 版）（GRIB2）とし、フォーマットを別紙 4-1 及び別紙 4-2 に示します。なお、現在提供している「台風の暴風域に入る確率分布（5 日）（格子点値）」との違いは、以下のとおりです。

- 第 4 節の第 8～9 オクテットのテンプレート番号を変更します。
- 第 4 節の第 15～16 オクテットに TC 番号を挿入します。これに伴い、第 4 節のバイト数が 2 バイト大きくなります。

（エ）発表時刻（別紙 7 参照）

対応する台風解析・予報情報の発表時刻（２．（１）（ウ）で示した発表時刻）の約 20 分後に発表します。ただし、２．（１）（ウ）で示した発表時刻が重なる台風等が複数ある場合、重なる台風等の 2 個目以降はさらに 10 分ずつ加算した時刻に発表します。

③　台風の暴風域に入る確率分布（Ｒ２）（画像）の新規提供

（ア）ファイル名

○ 3 時間ごとの確率分布図の画像

Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0000-0003_NCccccnnn_NTYtttt_image.png

Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0003-0006_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0006-0009_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0009-0012_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0012-0015_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0015-0018_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0018-0021_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0021-0100_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0100-0103_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0103-0106_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0106-0109_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0109-0112_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0112-0115_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0115-0118_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0118-0121_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0121-0200_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0200-0203_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0203-0206_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0206-0209_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0209-0212_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0212-0215_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0215-0218_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0218-0221_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0221-0300_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0300-0303_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0303-0306_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0306-0309_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0309-0312_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0312-0315_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0315-0318_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0318-0321_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0321-0400_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0400-0403_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0403-0406_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0406-0409_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0409-0412_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0412-0415_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0415-0418_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0418-0421_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0421-0500_NCccccnnn_NTYtttt_image.png

○　確率積算分布図の画像

Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0000-0100_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0000-0200_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0000-0300_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0000-0400_NCccccnnn_NTYtttt_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0000-0500_NCccccnnn_NTYtttt_image.png

- Z と C の間にはアンダースコアーが 2 個、その他のアンダースコアーは 1 個。
- yyyyMMddhhmmss はデータの観測時刻の年月日時分秒を UTC（協定世界時）で設定。
  （yyyy：西暦年、MM：月、dd：日、hh：時、mm：分、ss：秒）
- cccc は TC 番号(西暦年の下 2 桁とその年の熱帯低気圧番号 2 桁で表される 4 桁の数字)
- nnn は当該台風等に関して提供する画像の 3 桁の通番
- tttt は台風番号（西暦年の下 2 桁とその年の台風番号 2 桁で表される 4 桁の数字)、ただし、熱帯低気圧の場合は”0000”

（イ）画像に含まれる内容等

現在提供している「台風の暴風域に入る確率分布（5 日）（画像)」と同じです。

（ウ）画像形式

図法、対象領域、画像分解能は、現在提供している「台風の暴風域に入る確率分布（5 日）（画像)」と同じで次のとおりです。

- 図法：ポーラーステレオ図法
- 領域：北緯 20 度、北緯 50 度、東経 120 度、東経 150 度で囲まれる領域が含まれる領域。ただし、確率分布を描画するのは上記緯度・経度で囲まれた領域のみ。
- 画像分解能:縦 842 ピクセル、横 595 ピクセルで、分解能は縦横ともに 96dpi

（エ）発表時刻

対応する台風解析・予報情報の発表時刻（２．（１）（ウ）で示した発表時刻）の約 20 分後に発表します。ただし、台風解析・予報情報の発表時刻が同時刻となる台風が複数ある場合、当該台風については、同時刻となる台風の個数に応じて 10 分ずつ加算した時刻に発表します。

（５）全般台風情報（VPTI50）における「発達する熱帯低気圧に関する情報」の提供

現在、全般台風情報（VPTI50）は台風においてのみ提供していますが、熱帯低気圧の段階から「発達する熱帯低気圧に関する情報」として、今後台風に発達すると予想される熱帯低気圧が日本に影響する恐れがある場合に提供します。

XML のフォーマット（一般報）に変更はありません。別紙 5 に提供例を示します。

提供開始は、令和 2 年 9 月です。

（６）全般台風情報（図形式）の新規提供

配信資料に関する技術情報第 490 号（平成 30 年 4 月 27 日）において、図形式全般気象情報において台風に関する内容が含まれるとしていましたが、今後は、台風等に関する内容が含まれる場合は、下記のファイルにて「全般台風情報（図形式）」として提供します。情報番号は、同じ台風等を対象とした全般台風情報（定型）（VPTI51）及び全般台風情報（VPTI50）の情報番号と連番になります。

- 提供形式：PDF（およそ数百 KB 程度、提供例は別紙 6 参照）
- 提供方法：FTP
- 提供開始：令和 3 年 3 月
- ファイル名：
  Z__J_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_INF_Jtypjoho_NTCcccc_NTYtttt_NDCii_NJnnn@@@image.pdf

・ Z と C の間にはアンダースコアーが 2 個、その他のアンダースコアーは 1 個。

・ yyyyMMddhhmmss は発表日時（UTC）
（yyyy：西暦年、MM：月、dd：日、hh：時、mm：分、ss：秒）

・ cccc は TC 番号（西暦年の下 2 桁とその年の熱帯低気圧番号 2 桁で表される 4 桁の数字）

・ tttt は台風番号（西暦年の下 2 桁とその年の台風番号 2 桁で表される 4 桁の数字）。ただし、熱帯低気圧の場合は”0000”とする。

・ ii は、台風についての情報の場合は”00”で、熱帯低気圧についての情報の場合は、通年の「発達する熱帯低気圧に関する情報」を発表した熱帯低気圧の番号（情報番号「第 XX の YY 号」の「XX」に対応）

・ nnn は情報番号（熱帯低気圧の場合は下 2 桁部分が、情報番号「第 XX の YY 号」の「YY」に対応）

・ @@@は通常・訂正フラグ
（通常は n00 とし、発表した情報の内容に訂正のある場合には発表日時は変更せず、本フラグを c01、さらに訂正のある場合には順に c02、…、c99 として訂正報を配信します）

全般台風情報の種類（黄色で示した情報が、今回新たに提供する情報）

電文タイトル	ヘッダ	情報名称	発表対象
全般台風情報	VPTI50	全般台風情報（総合情報）	台風
		全般台風情報（上陸等情報）	台風
		発達する熱帯低気圧に関する情報	熱帯低気圧
全般台風情報（定型）	VPTI51	全般台風情報（位置）	台風
		全般台風情報（発生情報）	台風
		発達する熱帯低気圧に関する情報	熱帯低気圧
全般台風情報（詳細）	VPTI52	全般台風情報（位置詳細）	台風
全般台風情報（図形式）	ファイル		台風、熱帯低気圧

３．提供開始時期

１．に示した通り、令和２年９月、令和３年３月から実施します。具体的な実施日時、試験配信の日程などは改めてお知らせします。

４．サンプルデータ

XML 形式電文は、「気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ」（http://xml.kishou.go.jp/）において、サンプルデータを提供します。

その他の電文は、（一財）気象業務支援センターにサンプルデータを提供しますので、必要な方はお問い合せください。

５．電文等のプロダクトの運用計画

今回の改善に伴う電文等のプロダクトの運用計画は次のとおりです。

①　新設・追加するプロダクト

データ形式	データ種類コード：情報名	今後の提供計画
XML	VPTAii [ii=50～55]：台風の暴風域に入る確率(R2)(電文)	令和３年３月から配信開始予定
GRIB2	台風の暴風域に入る確率分布（R2）（格子点値）	
PNG	台風の暴風域に入る確率分布（R2）（画像）	
PDF	全般台風情報（図形式）	

②　運用を一部変更するプロダクト

データ形式	データ種類コード：情報名	今後の提供計画
XML	VPTWii [ii=60～65]：台風解析・予報情報（5 日進路・強度予報）	令和 2 年 9 月に運用を変更する予定
XML	VPTI50：全般台風情報（総合情報、上陸等情報） 発達する熱帯低気圧に関する情報	
XML	VPZU52：全般海上警報（定時）（H29）	
A/N	WWJP27：全般海上警報（定時）（H29）（英文）	
XML	VPCU51：地方海上警報（H28）	

③ 内容を変更せずに配信を継続するプロダクト

データ形式	データ種類コード：情報名	今後の提供計画
XML	VPTI51：全般台風情報（位置、発生情報） 発達する熱帯低気圧に関する情報	変更なし
XML	VPTI52：全般台風情報（位置詳細）	
PNG	WTAS12：台風予報図	
BUFR	IUCC10：気象衛星資料解析気象報	
A/N	WTJPii [ii=21～26]：台風に関する情報（定時）	
A/N	WTJPii [ii=31～36]：台風に関する情報（臨時）	
XML	VPZU53：全般海上警報（臨時）（H29）	
A/N	WWJP28：全般海上警報（臨時）（H29）（英文）	

④ 内容を変更せずに配信するが将来廃止するプロダクト

以下の電文等については、今後、配信を終了する予定です。利用システムの改修・更新等の機会をとらえて、今回提供を開始する情報等の利用への移行をよろしくお願いします。

データ形式	データ種類コード（ファイル名）：情報名	今後の提供計画
XML	VPTWii [ii=40～45]：台風解析・予報情報	令和 2 年度末までに配信終了予定 ※配信資料に関する技術情報第 493 号のとおり
XML	VPTWii [ii=50～55]：台風解析・予報情報（５日進路予報）	
A/N	FXJPii [ii=51～56]：台風の暴風域に入る確率（電文）	
GRIB2	Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_GPV_Rjp_Jwsp50_FD0000-0300_NTttttnn_grib2.bin Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_GPV_Rjp_Jwsp50_FD0000-0300_JRintgrt_NTttttnn_grib2.bin ：台風の暴風域に入る確率分布（格子点値）	
PNG	WTAS07：台風予報図	
A/N	FXJPii [ii=61～72]：台風の暴風域に入る確率（５日）（電文）	令和 3 年度末までに配信終了予定
GRIB2	Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_GPV_Rjp_Jwsp50_FD0000-0500_NTttttnn_grib2.bin Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_GPV_Rjp_Jwsp50_FD0000-0500_JRintgrt_NTttttnn_grib2.bin ：台風の暴風域に入る確率分布（５日）（格子点値）	

PNG	Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FDhhmm-hhmm_NTttttnn_image.png Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0000-0d00_NTttttnn_image.png ：台風の暴風域に入る確率分布（画像）	
XML	VPZU50：全般海上警報（定時）	令和 2 年度末までに配信終了予定 ※配信資料に関する技術情報第 477 号のとおり
XML	VPZU51：全般海上警報（臨時）	
A/N	WWJP25：全般海上警報（定時）（英文）	
A/N	WWJP26：全般海上警報（臨時）（英文）	
XML	VPCU50：地方海上警報	まもなく配信終了

６．その他

（１）台風の呼名について

XML 電文中に用いる台風の呼名については、「気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ」(http://xml.kishou.go.jp/) において提供されている「台風解析・予報情報（延長予報）電文（新形式)」の解説資料の別表 1 を参照してください。北西太平洋で発生した台風一覧のほか、他の海域で発生し北西太平洋に移動してきた台風は、当該海域で命名された呼名をそのまま引き継ぎますので、他の海域の呼名の一覧も記載しています。

また、今後、台風の呼名が更新される都度、「気象庁防災情報 XML フォーマット　更新情報」ページ (http://xml.kishou.go.jp/revise.html) においてお知らせする予定です。最新の呼名表をご利用いただくよう、ご留意ください。

（２）台風の存在地域名について

XML 電文中に用いる台風の存在地域名については、「気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ」(http://xml.kishou.go.jp/) において提供されている「台風解析・予報情報（延長予報）電文（新形式)」の解説資料の別表 2 を参照してください。

また、今後、台風の存在地域名に変更がありましたら、その都度「気象庁防災情報 XML フォーマット　更新情報」ページ (http://xml.kishou.go.jp/revise.html) においてお知らせする予定です。最新の存在地域名をご利用いただくよう、ご留意ください。

台風解析・予報情報（VPTW60-65）電文

別紙1

24時間先までの予報と同様に、48(45)、72(69）、96(93)、120(117)時間先の予報を記載。


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/" xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/" xmlns:jmx_add="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/addition1/">
  + <Control>
  + <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
  - <Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/" xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
    - <MeteorologicalInfos type="台風情報">
      - <MeteorologicalInfo>
          <DateTime type="実況">2019-10-05T09:00:00+09:00</DateTime>
        - <Item>
          - <Kind>
            - <Property>
                <Type>呼称</Type>
              - <TyphoonNamePart>
                  <Name />
                  <NameKana />
                  <Number />
                  <Remark>台風発生予想</Remark>
                </TyphoonNamePart>
              </Property>
            </Kind>
          + <Kind>
          + <Kind>
          + <Kind>
          + <Area>
          </Item>
        </MeteorologicalInfo>
      - <MeteorologicalInfo>
          <DateTime type="予報　12時間後">2019-10-05T21:00:00+09:00</DateTime>
        - <Item>
          - <Kind>
            - <Property>
                <Type>階級</Type>
              - <ClassPart>
                  <jmx_eb:TyphoonClass type="熱帯擾乱種類">熱帯低気圧(TD)</jmx_eb:TyphoonClass>
                  <jmx_eb:IntensityClass type="強さ階級" />
                </ClassPart>
              </Property>
            </Kind>
          + <Kind>
          + <Kind>
          + <Area>
          </Item>
        </MeteorologicalInfo>
      - <MeteorologicalInfo>
          <DateTime type="予報　24時間後">2019-10-06T09:00:00+09:00</DateTime>
        - <Item>
          - <Kind>
            - <Property>
                <Type>階級</Type>
              - <ClassPart>
                  <jmx_eb:TyphoonClass type="熱帯擾乱種類">台風(TS)</jmx_eb:TyphoonClass>
                  <jmx_eb:IntensityClass type="強さ階級" />
                </ClassPart>
              </Property>
            </Kind>
          + <Kind>
          + <Kind>
          + <Area>
          </Item>
        </MeteorologicalInfo>
      </MeteorologicalInfos>
    </Body>
  </Report>
```


24時間先の予報

48～120時間先の予報を挿入する。

24時間後の予報の後に、以下の赤枠の48～120時間先の予報を追加する。

48～120時間先の予報


```
- <MeteorologicalInfo>
    <DateTime type="予報　48時間後">2019-10-07T09:00:00+09:00</DateTime>
  + <Item>
  </MeteorologicalInfo>
- <MeteorologicalInfo>
    <DateTime type="予報　72時間後">2019-10-08T09:00:00+09:00</DateTime>
  + <Item>
  </MeteorologicalInfo>
- <MeteorologicalInfo>
    <DateTime type="予報　96時間後">2019-10-09T09:00:00+09:00</DateTime>
  + <Item>
  </MeteorologicalInfo>
- <MeteorologicalInfo>
    <DateTime type="予報　120時間後">2019-10-10T09:00:00+09:00</DateTime>
  + <Item>
  </MeteorologicalInfo>
```

全般海上警報（VPZU52）電文

別紙2-1

24時間先までの予報と同様に、48、72、96、120時間先の予報を記載。


```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
- <Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/" xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/" xmlns:jmx_add="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/addition1/">
  - <Control>
      <Title>全般海上警報(定時)(H29)</Title>
      <DateTime>2019-11-25T14:29:34Z</DateTime>
      <Status>通常</Status>
      <EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
      <PublishingOffice>気象庁予報部</PublishingOffice>
    </Control>
  - <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/" xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
      <Title>全般海上警報</Title>
      <ReportDateTime>2019-11-25T23:30:00+09:00</ReportDateTime>
      <TargetDateTime>2019-11-25T23:30:00+09:00</TargetDateTime>
      <ValidDateTime>2019-11-26T21:00:00+09:00</ValidDateTime>
      <EventID />
      <InfoType>発表</InfoType>
      <Serial />
      <InfoKind>全般海上警報</InfoKind>
      <InfoKindVersion>1.0_1</InfoKindVersion>
    + <Headline>
    </Head>
  - <Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/" xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
      <Notice>警報は6時間毎に更新します。</Notice>
    - <MeteorologicalInfos type="全般海上警報">
      + <MeteorologicalInfo>
      </MeteorologicalInfos>
    + <MeteorologicalInfos type="全般海上警報">
    + <MeteorologicalInfos type="全般海上警報">
    + <MeteorologicalInfos type="全般海上警報">
    - <MeteorologicalInfos type="全般海上警報">
      - <MeteorologicalInfo>
          <DateTime>2019-11-25T21:00:00+09:00</DateTime>
        - <Item>
          - <Kind>
              <Name>海上強風警報</Name>
              <Code>21</Code>
              <ClassName>熱帯じょう乱</ClassName>
            - <Property>
                <Type>呼称</Type>
              - <TyphoonNamePart>
                  <Name />
                  <NameKana />
                  <Number />
                </TyphoonNamePart>
              </Property>
            </Kind>
          - <Kind>
              <DateTime type="実況">2019-11-25T21:00:00+09:00</DateTime>
            - <Property>
                <Type>熱帯低気圧</Type>
              - <ClassPart>
                  <jmx_eb:TyphoonClass type="熱帯低気圧階級">熱帯低気圧</jmx_eb:TyphoonClass>
                </ClassPart>
              - <CenterPart>
                  <jmx_eb:Coordinate type="中心位置(度)" condition="不確実" description="北緯9.2度東経153.5度">+9.2+153.5/</jmx_eb:Coordinate>
                  <Location>トラック諸島</Location>
                  <jmx_eb:Direction type="移動方向" unit="16方位漢字" description="西">西</jmx_eb:Direction>
                  <jmx_eb:Speed type="移動速度" unit="ノット" description="18ノット">18</jmx_eb:Speed>
                  <jmx_eb:Pressure type="中心気圧" unit="hPa" description="中心気圧1004ヘクトパスカル">1004</jmx_eb:Pressure>
                </CenterPart>
              </Property>
            - <Property>
                <Type>風</Type>
              - <WindPart>
                  <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" condition="中心付近" description="中心付近の最大風速30ノット">30</jmx_eb:WindSpeed>
                </WindPart>
              </Property>
            </Kind>
          + <Kind>
          - <Kind>
              <DateTime type="予報　24時間後">2019-11-26T21:00:00+09:00</DateTime>
            - <Property>
                <Type>熱帯低気圧</Type>
              - <CenterPart>
                - <ProbabilityCircle type="予報円">
                    <jmx_eb:BasePoint type="中心位置(度)" description="北緯11.5度東経145.6度">+11.5+145.6/</jmx_eb:BasePoint>
                  - <jmx_eb:Axes>
                    - <jmx_eb:Axis>
                        <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字" condition="全域" description="全域" />
                        <jmx_eb:Radius type="70パーセント確率半径" unit="海里" description="中心が70パーセントの確率で入る予報円半径100海里">100</jmx_eb:Radius>
                      </jmx_eb:Axis>
                    </jmx_eb:Axes>
                  </ProbabilityCircle>
                </CenterPart>
              </Property>
            - <Property>
                <Type>風</Type>
              - <WindPart>
                  <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" condition="中心付近" description="中心付近の最大風速35ノット">35</jmx_eb:WindSpeed>
                </WindPart>
              </Property>
            </Kind>
          + <Kind>
          + <Kind>
          + <Kind>
          + <Area>
          </Item>
        </MeteorologicalInfo>
      </MeteorologicalInfos>
    + <MeteorologicalInfos type="全般海上警報">
    + <MeteorologicalInfos type="概況">
    + <MeteorologicalInfos type="概況">
    + <MeteorologicalInfos type="概況">
    + <MeteorologicalInfos type="概況">
    </Body>
  </Report>
```


24時間先の予報

48～120時間先の予報を挿入する。

24時間後の予報の後に、以下の赤枠の48～120時間先の予報を追加する。

48～120時間先の予報


```
      <Status>その後の見通し</Status>
      <DateTime type="予報　48時間後">2019-11-27T21:00:00+09:00</DateTime>
    + <Property>
    + <Property>
    </Kind>
  - <Kind>
      <Status>その後の見通し</Status>
      <DateTime type="予報　72時間後">2019-11-28T21:00:00+09:00</DateTime>
    + <Property>
    + <Property>
    </Kind>
  - <Kind>
      <Status>その後の見通し</Status>
      <DateTime type="予報　96時間後">2019-11-29T21:00:00+09:00</DateTime>
    + <Property>
    + <Property>
    </Kind>
  - <Kind>
      <Status>その後の見通し</Status>
      <DateTime type="予報　120時間後">2019-11-30T21:00:00+09:00</DateTime>
    + <Property>
    + <Property>
    </Kind>
  + <Area>
```

全般海上警報（WWJP27）電文

別紙2-2

24時間先までの予報と同様に、48、72、96、120時間先の予報を記載。

WWJP27 RJTD 251200
WARNING AND SUMMARY 251200.
WARNING VALID 261200.
WARNING IS UPDATED EVERY 6 HOURS.
GALE WARNING.
TROPICAL DEPRESSION 1004 HPA
AT 09.2N 153.5E TRUKS MOVING WEST 18 KNOTS.
POSITION POOR.
MAX WINDS 30 KNOTS NEAR CENTER.
EXPECTED MAX WINDS 35 KNOTS NEAR CENTER WITHIN NEXT 24 HOURS.
FORECAST POSITION FOR 260000UTC AT 10.2N 149.4E WITH 75 MILES RADIUS
OF 70 PERCENT PROBABILITY CIRCLE.
FORECAST POSITION FOR 261200UTC AT 11.5N 145.6E WITH 100 MILES RADIUS
OF 70 PERCENT PROBABILITY CIRCLE.
JAPAN METEOROLOGICAL AGENCY.=

24時間後の予報の後に、国際電文形式に則った形式で、
以下の赤字部分のとおり、48時間から120時間先予想を追加する。

EXTENDED OUTLOOK.
FORECAST POSITION FOR 27120UTC AT 11.2N 149.4E WITH 75 MILES RADIUS
OF 70 PERCENT PROBABILITY CIRCLE.
FORECAST POSITION FOR 28120UTC AT 12.2N 149.4E WITH 75 MILES RADIUS
OF 70 PERCENT PROBABILITY CIRCLE.
FORECAST POSITION FOR 29120UTC AT 13.2N 149.4E WITH 75 MILES RADIUS
OF 70 PERCENT PROBABILITY CIRCLE.
FORECAST POSITION FOR 30120UTC AT 14.2N 149.4E WITH 75 MILES RADIUS
OF 70 PERCENT PROBABILITY CIRCLE.

地方海上警報（VPCU51）電文

別紙3

24時間先までの予報と同様に、48時間先の予報を記載。


```xml
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<Report xmlns:jmx_add="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/addition1/" xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
  - <Control>
      <Title>地方海上警報(H28)</Title>
      <DateTime>2019-09-18T02:35:58Z</DateTime>
      <Status>通常</Status>
      <EditorialOffice>沖縄気象台</EditorialOffice>
      <PublishingOffice>沖縄気象台</PublishingOffice>
    </Control>
  - <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
      <Title>沖縄海上気象</Title>
      <ReportDateTime>2019-09-18T11:40:00+09:00</ReportDateTime>
      <TargetDateTime>2019-09-18T11:40:00+09:00</TargetDateTime>
      <ValidDateTime>2019-09-19T09:00:00+09:00</ValidDateTime>
      <EventID/>
      <InfoType>発表</InfoType>
      <Serial/>
      <InfoKind>地方海上警報</InfoKind>
      <InfoKindVersion>1.0_1</InfoKindVersion>
    + <Headline>
    </Head>
  - <Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/"
    xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
    - <Warning type="地方海上警報">
      + <Item>
      - <Item>
        - <Kind>
            <Name>海上強風警報</Name>
            <Code>21</Code>
          </Kind>
        - <Kind>
          + <Property>
          </Kind>
        - <Area>
            <Name>沖縄南方海上</Name>
            <Code>6030</Code>
          </Area>
        </Item>
      </Warning>
    - <MeteorologicalInfos type="気象要因">
      - <MeteorologicalInfo>
          <DateTime>2019-09-18T09:00:00+09:00</DateTime>
          <Name>18日09時</Name>
        - <Item>
          - <Kind>
            - <Property>
                <Type>概況</Type>
              - <SynopsisPart>
                  <jmx_eb:Synopsis type="気象要因">熱低 1000 北緯21. 2度 東経129. 1度 ほとんど停滞 位置不確実 最大風速 30ノット(15メートル)
                  今後24時間以内に 最大風速 35ノット(18メートル)に達する見込み 19日09時 予報円中心 北緯21. 8度 東経128. 0度 半径 60海里
                  (110キロ) 確率70% 最大風速 35ノット(18メートル)</jmx_eb:Synopsis>
                </SynopsisPart>
              </Property>
            </Kind>
          - <Area>
              <Name>沖縄海域</Name>
              <Code>6000</Code>
            </Area>
          </Item>
        </MeteorologicalInfo>
      </MeteorologicalInfos>
    </Body>
</Report>
```


24時間先の予報の後に、以下の赤枠の48時間先の予報を追加する。

48時間先の予報

```xml
<jmx_eb:Synopsis type="気象要因"> その後の進路の見通し 20日09時 予報円中心 北緯22. 8度 東経127. 0度 半径 75海里(140キロ) 確率70% 最大風速 40ノット(20メートル) </jmx_eb:Synopsis>
```

24時間先の予報

48時間先の予報を挿入する。

台風の暴風域に入る確率格子点値に用いるGRIB2のフォーマットおよびテンプレートの詳細

	節番号	節の名称・該当テンプレート	オクテット（バイトと同じ）	内容	表	値	備考
	第0節	指示節	1～4	GRIB		"GRIB"	アスキーコードで設定する
			5～6	保留		missing	
			7	資料分野	符号表0．0	0	気象プロダクト
			8	GRIB版番号		2	現行は2
			9～16	GRIB報全体の長さ		188433	第0節から第8節までのトータルのバイト数
						or 23653	3時間ごとの値は 188433、24, 48, 72, 96, 120時間の値は 23653
	第1節	識別節	1～4	節の長さ		21	
			5	節番号		1	
			6～7	作成中枢の識別	共通符号表	34	東京
					C-1		
			8～9	作成副中枢		0	
			10	GRIBマスター表バージョン番号	符号表1．0	3	マスター表バージョン番号3（現行）
			11	GRIB地域表バージョン番号	符号表1．1	1	地域表バージョン番号1
			12	参照時刻の意味	符号表1．2	1	予報の開始時刻
			13～14	資料の参照時刻（年）		※1	協定世界時
			15	資料の参照時刻（月）		※1	協定世界時
			16	資料の参照時刻（日）		※1	協定世界時
			17	資料の参照時刻（時）		※1	協定世界時
			18	資料の参照時刻（分）		※1	協定世界時
			19	資料の参照時刻（秒）		※1	協定世界時
			20	作成ステータス	符号表1．3	0	現業プロダクト
			21	資料の種類	符号表1．4	1	予報プロダクト
	第2節	地域使用節	不使用				
	第3節	格子系定義節	1～4	節の長さ		72	
			5	節番号		3	
			6	格子系定義の出典	符号表3．0	0	符号表3．1参照
			7～10	資料点数		4636	経度方向に61格子、緯度方向に76格子
			11	格子点数を定義するリストのオクテット数		0	
			12	格子点数を定義するリストの説明		0	
			13～14	格子系定義テンプレート番号	符号表3．1	0	緯度／経度格子
		テンプレート3.0	15	地球の形状	符号表3．2	4	IAG-GRS80モデルで定義された回転楕円体
		↓	16	地球球体の半径の尺度因子		missing	
		↓	17～20	地球球体の尺度付き半径		missing	
		↓	21	地球回転楕円体の長軸の尺度因子		1	
		↓	22～25	地球回転楕円体の長軸の尺度付きの長さ		63781370	長軸6378137.0m（第15オクテットの定義による）
		↓	26	地球回転楕円体の短軸の尺度因子		1	
		↓	27～30	地球回転楕円体の短軸の尺度付きの長さ		63567523	短軸6356752.314m（第15オクテットの定義による）
		↓	31～34	Ni－緯線に沿った格子点数		61	東経120度～150度の範囲（境界を含む）で0.5度間隔
		↓	35～38	Nj－経線に沿った格子点数		76	北緯20度～50度の範囲（境界を含む）で0.4度間隔
		↓	39～42	原作成領域の基本角		0	デフォルト
		↓	43～46	端点の経度及び緯度並びに方向増分の定義に使われる基本角の細分		missing	デフォルト
		↓	47～50	La1－最初の格子点の緯度		20000000	南端：北緯20.0度（10-6度単位）
		↓	51～54	Lo1－最初の格子点の経度		120000000	西端：東経120.0度（10-6度単位）
		↓	55	分解能及び成分フラグ	フラグ表3．3	48	i方向の増分を与える、j方向の増分を与える（'0x30'）
		↓	56～59	La2－最後の格子点の緯度		50000000	北端：北緯50.0度（10-6度単位）
		↓	60～63	Lo2－最後の格子点の経度		150000000	東端：東経150.0度（10-6度単位）
		↓	64～67	Di－i方向の増分		500000	経度方向：0.5度間隔（10-6度単位）
		↓	68～71	Dj－j方向の増分		400000	緯度方向：0.4度間隔（10-6度単位）
		↓	72	走査モード	フラグ表3．4	64	i及びjの増加方向に走査、i方向の隣接格子点が連続、すべて
							の行を同方向に走査（'0x40'）
第4節～第7節まで予報時間分繰り返し	第4節	プロダクト定義節	1～4	節の長さ		40	
			5	WW		4	
			6～7	テンプレート直後の座標値の数		0	
			8～9	プロダクト定義テンプレート番号	符号表4．0	50031	台風の暴風域に入る確率プロダクト（TC番号追加）
		テンプレート4.50031	10	パラメータカテゴリー	符号表4．1	11	運動量確率
		↓	11	パラメータ番号	符号表4．2	192	台風の暴風域に入る確率［単位は%］
		↓	12	作成処理の種類	符号表4．3	2	予報
		↓	13	背景作成処理識別符	符号表JMA4．1	170	台風の暴風域に入る確率計算ルーチン
		↓	14	解析又は予報作成処理識別符	符号表JMA4．2	missing	未定義
		↓	15～16	TC番号		******	暴風域に入る確率を計算した4桁（西暦年下2桁＋その年の通
							番2桁）のTC番号
		↓	17～18	台風番号		******	暴風域に入る確率を計算した4桁（西暦年下2桁＋その年の通
							番2桁）の台風番号。熱帯低気圧の時は、missing。
		↓	19	期間の単位の指示符	符号表4．4	1	時
		↓	20～23	予報の開始時刻（資料の参照時刻からの差分）－単位		※2	0, 3, 6, 9, …, 114, 117 のいずれか
				は第19オクテットで定義			
		↓	24	期間の単位の指示符	符号表4．4	1	時
		↓	25～28	予報時間－単位は第24オクテットで定義		※2	3, 24, 48, 72, 96, 120 のいずれか
		↓	29	第一固定面の種類	符号表4．5	1	地面又は水面
		↓	30	第一固定面の尺度因子		missing	
		↓	31～34	第一固定面の尺度付きの値		missing	
		↓	35	第二固定面の種類	符号表4．5	missing	
		↓	36	第二固定面の尺度因子		missing	
		↓	37～40	第二固定面の尺度付きの値		missing	
	第5節	資料表現節	1～4	節の長さ		21	
			5	節番号		5	
			6～9	全資料点の数		4636	経度方向に61格子、緯度方向に76格子
			10～11	資料表現テンプレート番号	符号表5．0	0	格子点資料－単純圧縮
		テンプレート5.0	12～15	参照値（R）		0	IEEE単精度浮動小数点表現
		↓	16～17	二進尺度因子(E)		0	
		↓	18～19	十進尺度因子(D)		0	
		↓	20	単純圧縮による各圧縮値のビット数		8	
		↓	21	原資料場の値の種類	符号表5．1	1	整数
	第6節	ビットマップ節	1～4	節の長さ		6	
			5	節番号		6	
			6	ビットマップ指示符		255	本プロダクトにビットマップは適用せず
	第7節	資料節	1～4	節の長さ		4641	経度方向に61格子、緯度方向に76格子に節の長さと節番号の
							5オクテットを加える
			5	節番号		7	
		テンプレート7.0	6～	二進資料値－尺度付き資料値のビット列			資料テンプレート7．0で記述された形式
							1バイトの整数値（Z）の列（脚注参照）
	第8節	終端節	1～4	7777		"7777"	アスキーコードで設定する

（注）

・第0節最初の「GRIB」と第8節の「7777」のみアスキーコード（正確には国際アルファベットNo.5　CCITT　IA5）で設定し、他は整数型又はIEEE単精度浮動小数点のバイナリーで設定する。

・IEEE単精度浮動小数点で表現するものはその旨を備考欄に記入している。

・値欄が「missing」の場合そのデータは全ビット1の値、「******」は可変を示す。

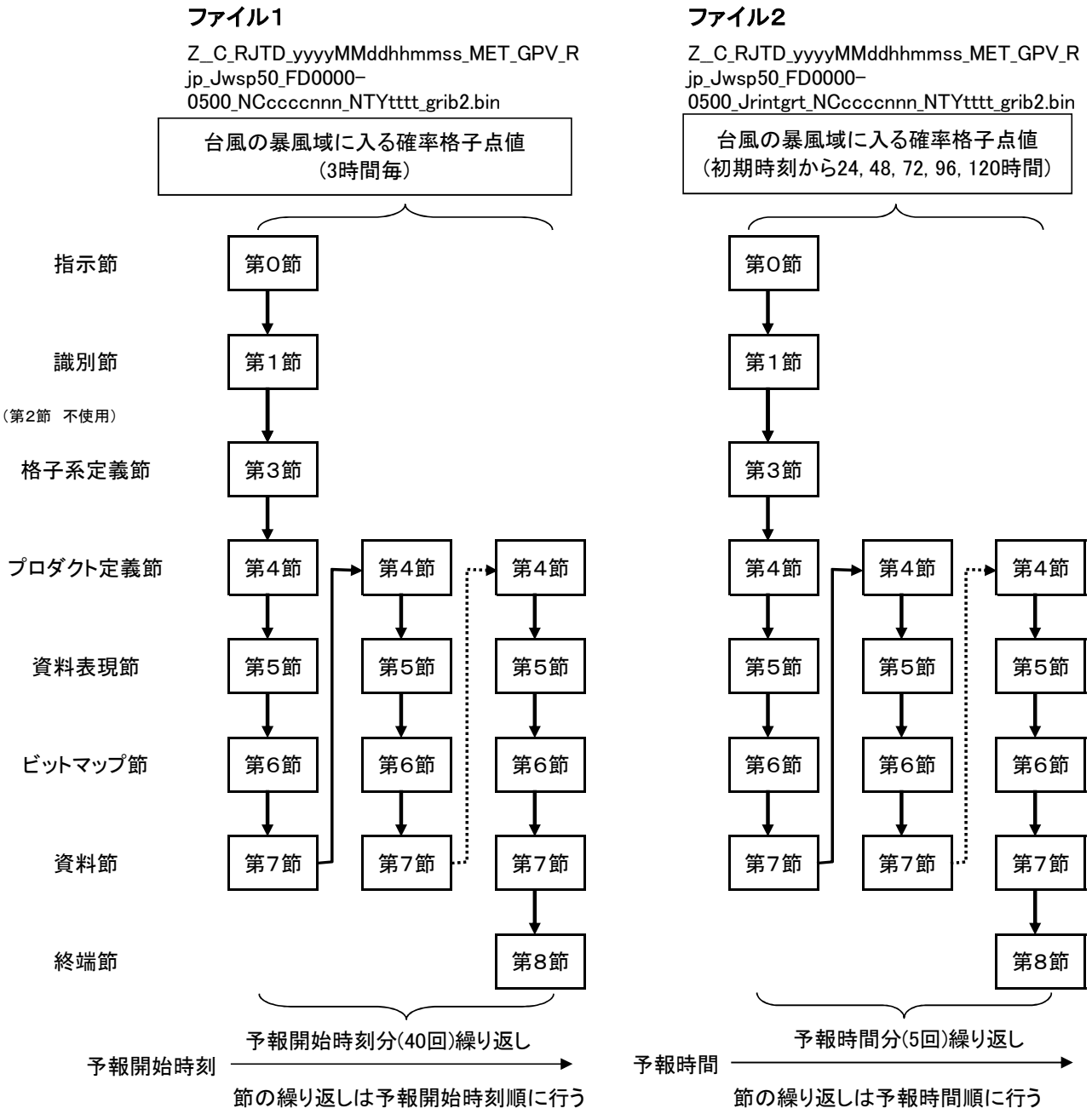
※1 第1節には、予報の開始時刻を協定世界時で格納する。年月日時分秒で使用する数値は、年：4桁の西暦年、月：1-12、日：1-31、時：0-23、分：0-59、秒：0-59 とする。

※2 第1節の第13～19オクテットの参照時刻（※1）に第4節の第20～第23オクテットの差分を加えたものが第7節に記述する資料の対象時間の初めにあたる。対象時間の初めと第4節の第25～第28オクテットの予報時間で対象時間を示す。

例えば、2017年11月7日00UTCイニシャルの　FT=09～12　の場合には、参照時刻（2017年11月7日00UTC）の9時間後から3時間の資料という記述になる。

節の繰り返しについて

GRIB2内に複数の予報対象時刻の資料を記述するために、第4節から第7節を繰り返す。



全般台風情報（非定型）（VPTI50）電文

別紙5

VPTI50において、熱帯低気圧の段階から「発達する熱帯低気圧に関する情報」を発表。

全般台風情報（総合）：台風の時に発表する（従来から提供）


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
    xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
    xmlns:jmx_add="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/addition1/">
  + <Control>
  - <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
      <Title>令和元年　台風第17号に関する情報　第1号</Title>
      <ReportDateTime>2019-09-19T16:43:00+09:00</ReportDateTime>
      <TargetDateTime>2019-09-19T16:43:00+09:00</TargetDateTime>
      <EventID>TC1923</EventID>
      <InfoType>発表</InfoType>
      <Serial>1</Serial>
      <InfoKind>同一現象用平文情報</InfoKind>
      <InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
    - <Headline>
        <Text>沖縄の南で大型の台風第17号が発生しました。台風は21日に沖縄地方に最も接近した後、22日には西日本に接近する見込みです。その後、温帯低気圧の性質を帯びつつ、勢力を保ったまま23日から24日に北日本や北陸地方に接近するおそれがあります。</Text>
      </Headline>
    </Head>
  - <Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/">
      <Notice />
    - <Comment>
        <Text type="本文">[台風の現況と予想]　19日15時、沖縄の南において、熱帯低気圧が大型の台風第17号になりました。台風はゆっくりした速さで西北西へ進んでいます。中心の気圧は994ヘクトパスカル、最大風速は18メートル、最大瞬間風速は25メートルとなっています。　台風は発達しながら北上し、21日に沖縄地方に最も接近した後、東シナ海を北上し、22日には九州を中心とした西日本に接近する見込みです。その後、日本海を北東に進み、温帯低気圧の性質を帯びつつ、勢力を保ったまま23日から24日に北日本や北陸地方に接近するおそれがあります。また、台風の北上に伴い、日本の南に停滞している前線も北上して活動が活発となる見込みです。[防災事項]<暴風・高波>　沖縄・奄美では風が強まっており、海はうねりを伴ってしけています。20日からうねりを伴った大しけとなり、沖縄地方では非常に強い風が吹くしょう。　20日にかけて予想される最大風速(最大瞬間風速)は、　沖縄地方　20メートル(30メートル)　20日にかけて予想される波の高さは、　沖縄地方、奄美地方　6メートル　21日には更に風が強まって沖縄地方では大荒れとなり、海上は猛烈なしけとなるおそれがあります。　暴風や高波に警戒してください。　台風の北上に伴い、西日本では22日頃を中心に暴風や大しけとなるおそれがあります。その後23日から24日頃にかけて北日本や北陸地方でも暴風や大しけのおそれがあります。また、23日頃は関東地方でも南よりの強風が吹く可能性があります。<大雨・雷・突風>　沖縄地方と奄美地方は台風周辺の雨雲がかかり、激しい雨や非常に激しい雨の降るおそれがあります。また九州南部も前線の北上により20日から激しい雨が降る見込みです。　20日18時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、　九州南部、奄美地方　150ミリ　沖縄地方　120ミリ　その後、21日18時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、　沖縄地方、奄美地方　200から300ミリ　九州南部　100から200ミリです。　大雨による土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒してください。落雷や竜巻などの激しい突風にも注意が必要です。発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど安全確保に努めてください。　台風の接近や前線の活動の活発化に伴い、西日本でも22日を中心に大雨となる見込みです。[補足事項]　今後、地元気象台が発表する警報や注意報、早期注意情報、気象情報、台風情報に留意してください。次の「令和元年　台風第17号に関する情報(総合情報)」は20日17時頃に発表する予定です。</Text>
      </Comment>
    </Body>
  </Report>
```


発達する熱帯低気圧に関する情報：熱帯低気圧の時に発表する（新しく提供）


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
    xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
    xmlns:jmx_add="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/addition1/">
  + <Control>
  - <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
      <Title>発達する熱帯低気圧に関する情報　第03の02号</Title>
      <ReportDateTime>2019-09-19T11:13:00+09:00</ReportDateTime>
      <TargetDateTime>2019-09-19T11:13:00+09:00</TargetDateTime>
      <EventID>TC1923</EventID>
      <InfoType>発表</InfoType>
      <Serial>03-02</Serial>
      <InfoKind>同一現象用平文情報</InfoKind>
      <InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
    - <Headline>
        <Text>今後、フィリピンの東にある熱帯低気圧が台風に発達する見込みです。その後の台風の進路や発達の程度によっては、30日から10月2日頃にかけて、沖縄・奄美や西日本では、大荒れや大しけとなるおそれがあります。</Text>
      </Headline>
    </Head>
  - <Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/">
      <Notice />
    - <Comment>
        <Text type="本文">[気圧配置など]　熱帯低気圧は、27日12時にはフィリピンの東にあって、1時間におよそ35キロの速さで西へ進んでいます。中心の気圧は1008ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は15メートル、最大瞬間風速は23メートルとなっています。　熱帯低気圧は、フィリピンの東を発達しながら西北西へ進み、今後24時間以内に台風となる見込みです。その後、次第に北寄りに進路を変えて、沖縄・奄美には30日から10月2日頃にかけて、西日本には10月2日頃に接近する可能性があります。[防災事項]　熱帯低気圧から変わる台風の接近により、沖縄・奄美では30日から10月2日にかけて大しけとなる見込みです。台風の進路や発達の程度によっては、沖縄・奄美では大荒れとなるおそれがあり、西日本でも10月1日から2日頃にかけて、大荒れ、大しけとなるおそれがあります。[補足事項等]　地元気象台の発表する早期注意情報、今後発表する台風に関する気象情報等に留意してください。　次の「発生する台風に関する全般気象情報」は28日14時頃に発表する予定です。</Text>
      </Comment>
    </Body>
  </Report>
```


<Title>や<Serial>で情報番号が枝番になります
この枝番は、VPTI51の「発達する熱帯低気圧に関する情報」と連続します

全般台風情報（図形式）の提供例

別紙6

令和元年　台風第１９号に関する情報 第５９号
令和元年１０月１２日０６時４１分 気象庁予報部発表

大型で非常に強い台風第１９号は、１２日夕方から夜にかけて東海地方または関東地方に上陸する見込みです。東日本を中心に広い範囲で猛烈な風が吹き、猛烈なしけとなり、東日本では記録的な暴風や大雨、高潮のおそれがあります。暴風や高波、高潮、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒してください。

10月12日6時現在

		12日						13日							
		6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
		朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く
北海道地方	暴風（メートル）			15	15	18	20	25	28	28	25	25	18	15	15
	波浪（メートル）	4	4	4	4	4	5	6	6	7	7	7	6	6	5
東北地方	大雨・洪水（ミリ）	30	40	50	80	80	80	80	70	30					
	暴風（メートル）	13	15	18	20	25	35	35	35	30	25	18	15		
	波浪（メートル）	5	5	6	7	8	11	11	10	10	8	8	6	6	6
	高潮														
関東甲信地方（伊豆諸島除く）	大雨・洪水（ミリ）	60	80	90	90	90	80	50	30	20					
	暴風（メートル）	20	23	25	30	45	40	35	25	20	15	13	12		
	波浪（メートル）	8	9	10	12	13	13	12	8	7	6	5	5	4	4
	高潮														
伊豆諸島	大雨・洪水（ミリ）	60	80	90	90	90	50								
	暴風（メートル）	30	35	40	45	45	30	25	25	15	15				
	波浪（メートル）	13	13	13	13	13	12	9	7	6	5	4	4	3	3
	高潮														
小笠原諸島	波浪（メートル）	6	6	5	5	5	5	4	4	3	3	3	3		
北陸地方	大雨・洪水（ミリ）		45	50	80	80	80	60	40	25					
	暴風（メートル）	20	22	25	26	27	27	27	20	20	15	15	15		
	波浪（メートル）	3	4	5	6	7	7	7	6	6	6	6	5	4	4
	高潮														
東海地方	大雨・洪水（ミリ）	100	100	100	100	100	100	30	30						
	暴風（メートル）	25	25	30	45	40	30	23	23	18	16	16	16		
	波浪（メートル）	10	11	13	13	13	11	7	6	4	3	3	3	3	3
	高潮														
近畿地方	大雨・洪水（ミリ）	50	70	70	50	40	30	20	10						
	暴風（メートル）	25	30	30	30	25	23	20	18	18	18	18	15	13	
	波浪（メートル）	10	10	10	9	7	6	6	6	6	6	5	5	4	4
	高潮														
中国地方	大雨・洪水（ミリ）			30	30	30	30	10	10						
	暴風（メートル）	20	25	25	25	23	23	23	23	23	23	18	15		
	波浪（メートル）	3	4	5	6	6	6	6	6	6	6	6	5	4	4
四国地方	大雨・洪水（ミリ）		30	30											
	暴風（メートル）	25	25	25	25	23	20	20	18	18	18	15	15	15	15
	波浪（メートル）	10	10	8	6	5	5	4	4	4	4	4	4	3	3
	高潮														
九州北部地方	暴風（メートル）	22	20	20	20	20	18	18	18	16	15	15	15	14	12
	波浪（メートル）	6	6	5	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5
沖縄地方	波浪（メートル）	6	5	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3

警報級　注意報級

次の「令和元年　台風第１９号に関する情報（総合情報）」は１２日１１時頃に発表する予定です。

左の情報を全般台風情報（図形式）として発表した場合の、ファイル名

Z__J_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_INF_Jtypjoho
_NTC1925_NTY1919_NDC00_NJX059n00image.pdf

TC番号　台風番号　情報番号

熱帯低気圧ではなく台風に対する情報なので、”00”

別紙７

各電文・ファイルの発表時刻

電文・ファイル	基とする観測時刻	発表時刻（観測時刻からの時間）
台風解析・予報情報（VPTWii[ii=40～45,50～55,60～65]）	00時,03時,06時,09時,12時,15時,18時,21時(VPTWii[ii=50～55]は03時,09時,15時,21時のみ)	発達する熱帯低気圧：約90分後
		台風発生時：約90分後
		発生時以外の台風
		台風の中心が日本から概ね300km以内の台風：約50分後
		それ以外の台風 1個目の台風：約50分後 2個目の台風：約70分後 3個目以降の台風：約90分後
台風の暴風域に入る確率電文（FXJPii[ii=51～56,61～72], VPTAii[ii=50～55]）	03時,09時,15時,21時	発達する熱帯低気圧（VPTAのみ）：約100分後※1
		台風発生時：約100分後※1
		発生時以外の台風※2,3
		台風の中心が日本から概ね300km以内の台風 1個目の台風：約60分後 2個目の台風：約70分後 3個目の台風：約80分後 （以降、10分ずつ加算）
		それ以外の台風 1個目の台風：約60分後 2個目の台風：約80分後 3個目の台風：約100分後 4個目の台風：約110分後 （以降、10分ずつ加算）
台風の暴風域に入る確率分布(格子点値),台風の暴風域に入る確率分布(画像)	03時,09時,15時,21時	発達する熱帯低気圧(R3.3に配信開始するファイルのみ)：約110分後※1
		台風発生時：約110分後※1
		発生時以外の台風※2,3
		台風の中心が日本から概ね300km以内の台風 1個目の台風：約70分後 2個目の台風：約80分後 3個目の台風：約90分後 （以降、10分ずつ加算）
		それ以外の台風 1個目の台風：約70分後 2個目の台風：約90分後 3個目の台風：約110分後 4個目の台風：約120分後 （以降、10分ずつ加算）

※1 他に台風等が存在し、台風解析・予報情報の発表時刻が重なるときは、これより遅くなる場合もある。

※2 他に発達する熱帯低気圧が存在し、台風解析・予報情報の発表時刻が重なるときは、これより遅くなる場合もある。

※3 従来から提供している電文・ファイルは、3個目の台風まで提供する。